

筑西・桜川地域を含む筑西・下妻医療圏においては、慢性的な医師不足や東日本大震災の影響などにより、急性期医療が事実上担えず、特に心疾患や脳血管疾患の死亡率が全国平均を大幅に上回るなど、地域医療に重大な支障が生じており、その是正は喫緊の課題であります。

このため、公立病院の再編統合による『新中核病院』の建設について、筑西・桜川両市が協議を続けてまいりましたが、現在に至るまで合意形成が図られず、「地域医療再生計画」に基づく国の交付金の期限が目前に迫る非常に深刻な状況となっております。

県民誰もが安心して医療が受けられる医療提供体制を構築するのは県の責務であります。地元住民の悲願である『新中核病院』が1日も早く完成できますよう、次の事項について特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。

## 記

- 1 県がリーダーシップを取って、筑西・桜川両市の協議が進展し、合意形成が早急に図られますようご尽力をお願いします。
- 2 国に対し「地域医療再生計画」期間延長の強い働きかけをお願いします。